

令和 7 年度第 3 回長門警察署協議会会議録

開催日時		令和 8 年 2 月 1 0 日（火） 午後 3 時から午後 5 時までの間
開催場所		長門警察署 講堂
出席者	委員	佐藤委員、上野委員、今浦委員、田邊委員、岡藤委員 計 5 人
	警察署	署長、次長、会計課長、刑事・生活安全課長、地域課長、 交通課長、警備課長 計 7 人
議題		1 所管業務の推進状況について 2 大規模自然災害に備えた諸対策の推進
1 会長挨拶 長門警察署員におかれては、平素から市民の安全安心を守っていただき感謝する。 先日、長門市内においても積雪があったが、事前に交通課長からスタッドレスタイヤの重要性について話を聞いていたので、しっかり準備することができた。 防犯関係の広報紙が学校やセンザキッチンに掲示されており、より防犯につながると感じた。その他、巡回連絡や様々な機会を通じて、市民に情報発信や広報活動をしていただきたい。 また、先日長門署員が小学校で職業講話をされていたが、警察官は子供たちにとってヒーローだと思うので、110 番の日等の各種イベントを開催していただき、協議会としても協力をしていければと考えている。 本日は今年度最後の協議会となるが最後までよろしくお願いします。		
2 署長挨拶（省略）		
3 所管業務説明（署長） （1）犯罪抑止総合対策の推進 （2）人身安全関連事案の対応状況 （3）地域安全活動の推進 （4）交通死亡事故抑止総合対策の推進 （5）警備諸対策の推進状況		
4 諮問事項説明 大規模自然災害に備えた諸対策の推進		

5 協議・検討

(委員)

長門市は災害の少ない地域であり、私たちが忘れたところに発生する。

私は仕事上、災害時に一番困るのは停電である。油谷地区は脆弱な電線が多いので停電が多く、修理業者が市外から来ることもあり原因究明等復旧に時間がかかる。

停電するとエレベーターが動かなくなり、お客様の移動に支障が出て、過去には、階段で最上階から1階までお客様をおんぶして下りたこともある。

娘が石巻市に住んでいたことがあり、震災の教訓から、寝るときは履物をそばに置いておく聞いた。

私も小さい頃、「寝るときは枕元に着替えと履物を準備して寝なさい」と言われてきた。戦争を体験した人たちはそういう意識を持っていたのだと思う。

今は災害が少ない環境なので災害の恐ろしさを忘れてしまっているが、忘れた頃に災害がやってくると思えば、気を付けていかなければならないと感じた。

油谷の向津具半島は、元来地すべり地帯であり、過去は地すべりが多く発生していた。

現在は改良工事が進み、地滑りの発生は少なくなったが、注意が必要である。

ため池の点検の話もあったが、今後管理が行き届かなくなったため池や山林が増えると災害につながる可能性もある。

ため池の水が多ければ災害につながり、少なければ干ばつにつながるので日頃から管理しておかないと、豪雨や渇水時に対策をしようとしても難しいと思う。

(署長)

警察署の業務で停電になると困るものといえば信号機である。

阪神淡路大震災の時も信号が滅灯して、道路交通が完全に麻痺してしまった。日本人は道徳が行き届いているといっても混乱は避けられない。

その他無線などの通信機器も重要であるため、主要な交差点や警察署には発動発電機や予備バッテリーなどの備えをしている。

(委員)

最近、市内の企業に対してフィッシングメールやスパムメールが届くと聞いている。

実在の会社の経営者名でメールが届き、公開されている経営者の名前を悪用しているのだと思うが、メールアドレスをよく確認して開封するように気を付けている。

(委員)

国際電話不受理については署員の皆様が熱心に巡回しているのを聞いていたので、私も登録させていただいた。

過去何度か地震に遭ったことがあり、芸予地震の際は広島市内に、東日本大震災の時は東京にいたが、特に東日本大震災の時は余震も続き、マンションも大きく揺れて心配であった。その経験から、非常食や長期保存水を常備するようになった。

また、広島市では路面電車が全て閉鎖され移動が困難になったが、東日本大震災の時の東京は交通機関が完全に麻痺し、人と車があふれかえる状態になった。

子供が防災頭巾を被って通学していたことを思い出すが、災害があった場合は各々が備えをしておかなければいけないと思うので、うそ電話詐欺の広報と併せて、災害時の対応や常備しておくもの等の広報も行っていたきたい。

(署長)

実際に震災を経験したことがなければ分からない貴重な意見に感謝する。

拝命したばかりの警察官の中には震災の記憶もない警察官もいるので、過去の震災を教訓として警察活動に生かしていかなければならない。

(委員)

昨年 12 月に降雪で広島から岩国間の高速道路が通行止めになり、ノーマルタイヤで走行した車がスタックしたことが原因という話を聞いた。

正月に雪が降ったときは、NEXCO 西日本が冬用タイヤ規制をかけたことで、ノーマルタイヤを装着した車は高速道路に入れなかった。台数にして約 3,000 台が対象だったという話だが、賢明な判断だと思う。

高速道路が通行止めとなると交通が麻痺し、物流や人の移動に多大な影響が出るが、今後ノーマルタイヤで雪道を走行すると取り締まるといった予定があるのか。

(交通課長)

積雪路面をノーマルタイヤで走行すれば公安委員会遵守事項違反という違反に該当する。

しかしながら積雪があつたり、なかったりするような道路状況が多く、信号無視や一時停止違反のような取締りをするのは難しい。

積雪路面をノーマルタイヤでスリップして事故をした場合に処分する可能性があるが、現状は降雪前にスタッドレスタイヤの装着やタイヤチェーンの携行を推奨する広報を行っている。

(委員)

公安委員会遵守事項違反の内容までは知らなかった。大々的に広報した方がよいのではないか。

(署長)

委員の言われるように、積雪時のスタックや事故は道路交通に多大な影響を与えるので、一人でも多くの市民に伝わるよう広報や取締りをしていきたい。

(委員)

メールの話が出たが、私どもの会社にも代表者の名前でメールが届く。社内には注意を促す通達を出したが、新たな詐欺の手口ではないかと思うので警察署の方で各企業宛に広報をしていただきたい。

私の職場でも発動発電機等を設置して対策をしているが、やはり停電が一番困る。

長門市は地震などの災害は非常に少ない地域と思うが、可能性として一番高いのは豪雨による災害だと思う。

県内では、線状降水帯や梅雨前線による豪雨災害が毎年のように発生しているので、長門市でもいつ発生してもおかしくないと思う。

私の住む集落は県道が一本だけ通っており、周りは山で囲まれている。その道が土砂災害で塞がれてしまうと孤立する地形であるが、長門市内は山間部が多いので、同じような地形のところがほかにもたくさんあると思う。

危険な場所はハザードマップなどで把握していると思うが、何かあった場合にすぐに初動ができるよう体制を整えていただきたい。

また会社では消防訓練を毎年行っているが、災害的な訓練はやったことがなく、今後災害対応訓練を行うときは助言や協力をお願いしたい。

(署長)

訓練を行う際は是非協力させていただき、警察から見た助言などさせていただきたいので、お声掛けをよろしくお願いする。

(委員)

防犯カメラについてお尋ねするが、妹が北九州に住んでいるおり、反社会的勢力の関係からか同地区は防犯カメラの設置数が非常に多く、防犯上非常に役に立っていると聞いた。

長門市内の防犯カメラは数えるほどしか設置されていないと思うが、田舎は人が少ないので監視の目が少なく防犯カメラの必要性は高いと考える。

防犯カメラの設置は自治会が主体となって行っているのか。

(署長)

自治会の予算で設置することとなる。

反社会的勢力の数が少なくても、うそ電話詐欺の受け子が長門市に来た事実もあるので、長門市にも防犯カメラの必要性はあると考えている。

予算化ができているところには声掛けし、渋木地区には昨年、センザキッチンには一昨年設置したので、今後も防犯カメラの設置数を増やしていこうと考えている。

令和7年度第3回長門警察署協議会資料（警察署作成）

7 次回警察署協議会の開催日程

次回の長門警察署協議会（令和8年度第1回協議会）については令和8年6月頃の開催予定とした。